

○内容

放課後等デイサービス自己評価表<事業者向け>に回答し、結果のまとめ、分析を行いました。

○対象

社会福祉法人すずらんの会 発達支援部門ぱれっと 職員 11 名

療育担当職員 9 名（うち管理者・児童発達支援管理責任者 2 名）、事務担当職員 2 名

○実施時期

平成 28 年 10 月 25 日

○結果

番号	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	自由記述	分析
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	1	0		何回かの移転を経験し、両事業所とも部屋数、面積とも現在は十分と考えています。
2	職員の配置数は適切であるか	10	1	0	・担当性、予約制のため職員を常勤化	配置基準を上回った職員数を配置しています。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がてきせつになされているか	10	1	0	・階段は以前保護者から危ないと指摘があり、小さな子どもは特に見守りが必要 ・車いすトイレ設置、1階全面フラット ・車いすでも使用できるトイレの設置	ぱれっとやまとの階段については見守りが必要ですが、ぱれっとやまと1階とぱれっとについてはバリアフリー化しています。
4	業務改善をすすめるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	1	0	・個々のケースについての検討や、年間の事業計画は会議で話し合われている。 ・業務内容全般において全体会議で検討している。 ・月2回職員会議にてケース共有の機会がある。	何事も全体で話し合っていて決めています。会議時間を十分に確保することは難しい現状があります。

5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度初めて実施したが、今後も定期的に行っていくと良いと思う。</li> <li>・昨年度アンケート実施、予約システムに一部変更を加えた。</li> </ul>	定期的な実施を検討していきます。
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後その予定</li> </ul>	ホームページと事業所内掲示にて公開します。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	9		法人の方針もあり、第三者評価は今のところ実施していません。今後、実施を前向きに検討します。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	0	0		研修は積極的な参加を奨励しています。十分ということはありませんので、さらに参加を促進します。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	0	0		ぱれっとの療育の基本スタイルですので、すべての職員が「している」と回答しています。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種心理検査、質問紙等</li> </ul>	お子さんによってどのツールを使用するか検討し、複数のツールを組み合わせる多角的にアセスメントしています。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に関しては基本的に担当が行うが、必要に応じて他スタッフに意見を仰ぐこともある。</li> <li>・ケース会議、個別担当・グループ担当との話し合い</li> </ul>	個別療育についても、支援方針などをチームで考えていくことが望ましいのですが、時間的な制約もあり、担当中心に立案しています。ケース会議の時間確保など課題はありますが、真のチーム支援を目指していきたいと思えます。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの興味に合わせて楽しめる内容を取り入れている。</li> </ul>	お子さん一人一人にオーダーメイドのプログラムを考えています。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期中と休みで状態に変化のあるお子さんに対しては状態に応じてプログラムを設定している。</li> </ul>	基本的には長期休みも療育を実施する方針は変わりません。お子さんの調子の波にあわせて支援を工夫しているという意味の回答だと思います。

					・基本的には変わらない。子どもの調子等に応じて。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	0	0		個別と小集団療育の両方に参加しているお子さんについては、必ず両方の目標を支援計画に盛り込んでいます。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	2	0	・個別指導は必要性による。集団指導は必ず実施。 ・小集団は必ず。 ・グループではメインとサブが必ず打ち合わせを行う。	個別療育についてもできるだけ職員間で情報を共有していくことが課題です。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	4	0	・先月から夕礼を開始し、その日にあったことを皆で共有できる時間をもてるようになって良かった。 ・個別指導は必要性による。集団指導は必ず実施。 ・小集団は必ず。個別は必要に応じて。	お子さん一人一人の様子について、できるだけ情報共有していくことが課題です。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	0	0	・誰が見てもわかるように記録を正確にとっている。	記録は正確に迅速に。努力しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	0	0	・6ヶ月ごと	長くても半年ごと、お子さんの変化が大きい場合は必要な時期にモニタリング、計画の見直しを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	8	3	0	・今後実施の予定	放課後長い時間を過ごすデイサービスとは、活動内容がやや異なっていますが、ガイドラインは各職員でよく読み込んで、基本を大事にやっていきたいと思っています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担	9	2	0	・担当者が参加	相談支援事業所の担当者会議には、担当者を中心

	当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか					に、ふさわしい者が参加しています。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの集団生活での状況に応じて連絡を取るようにしている。</li> <li>・連絡ノートや文書の共有には気を配っている。</li> </ul>	送迎を実施していないので、送迎にまつわる連絡調整はありません。お子さんに関わることや行事などについては、電話やノート、実際の行き来などで連携しています。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	6	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当児がいない</li> <li>・保護者同伴なので何かあれば保護者を通じて連絡する形になると思う。</li> <li>・全てのケースではないが必要な子には可能な限り連携している。</li> <li>・必要に応じて</li> </ul>	現在は医療的ケアの該当児はいません。今後受け入れの際には保護者を通じて連携し、支援にあたっていくことになると思います。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在在籍している所のみの現状</li> <li>・不十分と思う。</li> <li>・必要に応じて</li> <li>・必要に応じて訪問し、情報交換している。</li> </ul>	児童発達支援事業も実施しているため、就学前から必要に応じて連携しています。しかし、連携は物理的な時間のかかることでもあり、職員として十分にできていると感じられてはいないようです。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書を作成している。</li> <li>・全ケースサマリーを出している。</li> <li>・全員に申し送り書を作成</li> <li>・申し送り書を作成している。</li> </ul>	申し送り書は皆さんに作成しています。必要に応じて、直接担当者とお会いして情報提供することもあります。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数としては多くないが、子どもの状況に応じて適宜行っている。</li> </ul>	必要に応じて適宜連携させていただいています。先方のキャパもありますので、確かに数としてはそれほど多くはないかもしれません。
26	放課後児童クラブや児童館との交流	0	0	11		今のところそのような機会は作っていません。

	や、障害のない子どもと活動する機会はあるか					
27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	2	5	4		地域のネットワーク会議や事業所会議には必ず参加していますが、自立支援協議会の参加メンバーにはなっていません。ネットワーク会議や事業所会議に参加した際には、職員へ報告し、情報共有するようにしています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎回面談</li> <li>・ 毎回面談で最近の様子やニーズを確認している。</li> </ul>	親御さんとは毎回面談の時間をとらせていただき、常に共通理解をもちながら支援にあたっています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別に実施</li> </ul>	以前プログラムとしてペアトレを実施したことがあります。継続的に実施するというよりは、今は必要に応じて個別の面談の中で実施しています。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	0	0		契約時、また、必要に応じてできる限りご説明しています。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	0	0		毎回の面談時に、日常生活のこと、悩みなどできるだけいろいろお聞かせいただきたいと思います。必要に応じて、保護者だけの面談を設定することもあります。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	7	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者会の開催はないが、グループ間での連携、支援は行っている。</li> <li>・ オフィシャルな保護者会は数年行えていないので、また企画、実施したい。</li> <li>・ 前はしていたが今は実施していない。</li> <li>・ 最近は実施していない。過去に実施。</li> </ul>	過去に実施したことがあります。また実施したいという意見も出ていますので、今後検討していきます。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見箱の設置、小さなご意見も日誌に記入し可能な範囲で対応している。</li> </ul>	法人としての苦情解決システムがあります。

	に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか					
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的ではない。</li> <li>・ぱれっと新聞の発行</li> </ul>	年3～4回会報を発行しています。郵送でご家庭にお届けするほか、ホームページにも最新号を掲載しています。
35	個人情報に十分注意しているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議や学校訪問の際、その都度同意をもらっている。</li> </ul>	もちろんです。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭だけでなく書面でも伝えるなどするようにしている。</li> </ul>	コミュニケーション支援は私たちの仕事の本質的な部分だと思っています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	5	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人レベルで考えれば◎</li> <li>・自治会には加入している。</li> <li>・法人として実施</li> </ul>	法人として実施しています。法人の行事や地域での活動にぱれっとのスタッフも参加しています。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯は未整備</li> </ul>	今後防犯マニュアルについて策定の必要があると考えています。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の避難訓練</li> </ul>	避難訓練、食料などの備蓄などしています。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	6	0		機会を見つけて地域の研修会等に参加しています。職員全員が意識を高められるよう、研修参加後の情報共有の在り方を検討していきます。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デ	0	5	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例がない</li> </ul>	保護者も一緒に通所していただきますし、現在のところ身体拘束を計画するような経験がありません。

	イサービス計画に記載しているか					
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	2	5	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から頂いた情報で対応している。</li> <li>・おやつや食事の提供は原則なし。行事等は事前に確認、対応。</li> </ul>	食事やおやつなどを食べる機会があるときには、事前にアレルギーの有無を保護者に確認しています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故があった際に共有はされているが事業所での事例集作成は行われていない。</li> <li>・法人として実施。</li> </ul>	法人として実施しています。法人からの情報が職員に共有されていないという課題が明らかになりました。今後共有していきます。

### ○まとめ

自己評価を通じて、療育内容には自信をもっているけれど、外部機関との連携や、法人全体として取り組んでいることへの主体的な参加意識、などに不十分さを感じているというような結果が見えてきます。私たちが見るお子さんの姿は、地域生活の中のほんの一部でしかないことを常に自覚し、広い視野をもつことが求められているのかもしれない。井の中の蛙にならないよう、意識していきたいものです。また、事業所内でも、日々の業務に追われてしまいがちですが、個別療育だけを実施しているお子さんについても、できる限り複数のスタッフで情報共有し、支援方針を検討していく姿勢が必要であると改めて感じさせられる結果だったと思います。今後に生かしていきたいと思います。